

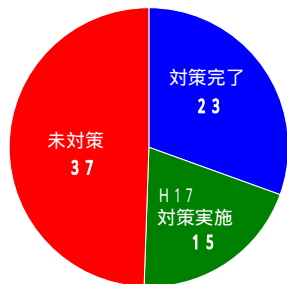
緊急輸送道路における橋梁震災対策率

1. 鳥取県の現状

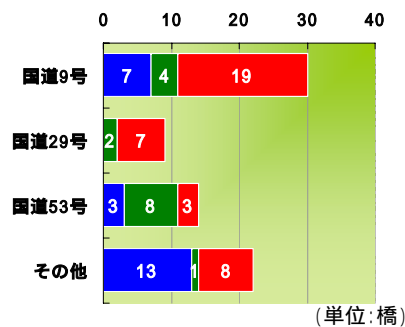
鳥取県では、地震等の災害が発生した場合に、避難・救助活動や災害後の生活支援を確実に実施するため、緊急輸送道路を指定しています。指定道路のうち、耐震補強が必要な橋梁は75橋あります。



対策が完了している橋梁の割合



路線別



2. 昨年度の成果 (達成度報告・・・新指標)

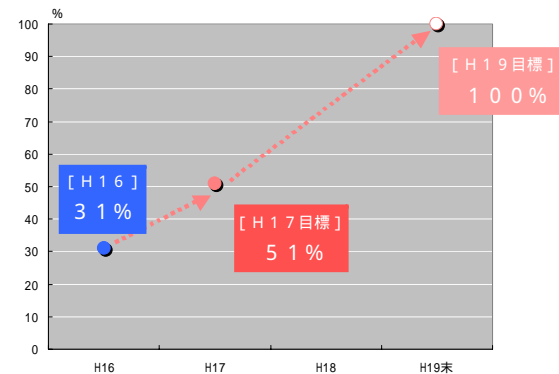
迂回路のない経路を優先に耐震補強を進めており、平成16年度で23橋の整備を実施しましたが、耐震補強の完了した橋梁は全体の約3割であり、まだ約7割(52橋)では未対策の状況です。

3. 本年度のとりくみ(業績計画)

耐震補強対策は、「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」に基づき平成19年完了を目指しています。この目標を達成するため、平成17年度においても、迂回路のない経路や中国自動車道路からのネットワーク確保を優先するとの考え方のもとで、耐震補強を実施します。

平成17年度は、国道9号、53号を中心に15橋の橋梁において耐震補強が完了の予定です。そのため、アウトカム指標の目標は51%(38橋)とします。

緊急輸送道路における橋梁震災対策率の目標



4. 平成19年度目標達成に向けた展望

本指標の平成19年度目標値は100%であり、第1次緊急輸送路における対象橋梁の75橋、全てにおいて耐震補強の完了を目指します。



耐震補強が完了した緊急輸送ルートの広がり

現時点



H17末



H18末



H19末



交流と連携

生き活きと

安全で安心